

2016年度前期 学生授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—キャリアセンター長—

キャリアセンター長 相原 章

全学共通教育科目のキャリアセンター開講科目についてアンケートが実施され、延べ471名の学部生のみなさんからご協力を頂きました。この場を借りて、お礼申し上げます。また、今回もアンケートの実施にあたり貴重な授業時間中にご協力頂きました先生方にも厚くお礼申し上げます。

今回の授業評価アンケートは、実施対象科目数13科目（実施必須科目数8、実施任意科目数5）のすべての科目で実施されました。その集計結果についてコメントを行いたいと思います。

授業の満足度を示す「総合的にこの授業を評価できる」の回答平均値は、5段階評価で4.36であり、大学全体の回答平均値4.39と同等の結果でした。この「総合的にこの授業を評価できる」とのあいだで強い正の関係がみられたのが、「この分野の関心と学力が得られた」（相関係数：0.82）、「授業への教員の熱意を感じた」（相関係数：0.72）、「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた」（相関係数：0.74）、「教員の話し方は明瞭であった」（相関係数：0.69）、「この授業のレベルはあなたにとって適切であった」（相関係数：0.69）でした。

この結果は、キャリアセンターが開講している科目の多くで、受講者の興味・関心を刺激するよう双方向的な授業が展開されていることをあらわしていると思えます。先生方には、ファシリテーターとしての役割も十分に発揮して頂いたとも考えられます。

一方で、「予習または復習をよくした」の回答平均値は、大学全体の回答平均値（3.39）と同様の3点台（平均回答値：3.08）となっています。他の項目のすべてが4点台であったことと比べると幾分低い値を示しています。しかしながら昨年度前期の回答結果（平均回答値2.96）と比べると若干の改善をみてとることができます。

今回のアンケート結果でみられた「良い」ところについては、今後も伸ばし、「気になる」ところについては改善を進めていき、授業の質的向上に努めていければと思います。